



2026(令和8)年度 一社) 熊本県サッカー協会 1種学生委員会総会

日時：2026(令和8)年4月4日(土)

18時00分～

場所：東海大学熊本キャンパス

I 開会，定足数確認，議長・議事録署名人の選出，議事録作成者の確認

- (1) 開会
- (2) 定足数確認 定数7名 出席：_____名、欠席：_____名
- (3) 委員長挨拶 村山
- (4) 熊本県サッカー協会出席者紹介・挨拶および説明
今田副会長・中村専務理事・星津常務理事・松下事務局長
 - 中期経営計画(2026年-2031年) 資料No.1 (p.2-9)
 - 中期経営計画-財務戦略-(2026年-2031年) 資料No.2 (p.10-15)
 - 2026年度事業計画(案) 資料No.3 (p.16)
- (5) 議長，議事録署名人選出 議長：村山 浩一
- (6) 議事録署名人(議長を除き2名)：東海大学熊本，高専熊本
- (7) 議事録作成者確認 熊本県学生サッカー連盟事務局

II 審議事項

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 議案1) 2025(令和7)年度事業報告 | ※資料No.4 (p.17) |
| 議案2) 2025(令和7)年度収支決算報告 | ※資料No.5 (p.18-24) |
| 議案3) 2026(令和8)年度事業計画 | ※資料No.6 (p.25) |
| 議案4) 2026(令和8)年度収支予算 | ※資料No.7 (p.26-30) |
| 議案5) 役員改選 | |

III 協議事項

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| (1) 2026年度1種学生委員会の事業目標・計画について | ※資料No.8 (p.31) |
| (2) 2026年度1種学生委員会事務局・専門委員について | ※資料No.9 (p.32) |
| (3) 2026年度費用弁済の改定について | ※資料No.10 (p.33) |
| (4) その他 | |

IV 報告・連絡事項

- (1) 賃金・謝金・交通費等の原則口座振込への移行について
- (2) その他

V 閉会

- (1) 閉会

中期経営計画

2026年－2031年

Kumamoto Football Association

KFA



基本構想：【第2版】2007年4月1日改定【第3版】2023年4月1日改定

2002年4月、熊本県サッカー協会は「基本構想」を決定し、向かうべき目標と到達点を明らかにしました。その後、当協会の法人化、日本サッカー協会の「2005年宣言」、ロッソ熊本の誕生がありました。これまでの活動の成果と進展を踏まえ、大きな環境の変化にも的確に対応するため、2度改訂しました。更なる熊本のサッカー発展に積極的に取り組んで参ります。

1 基本理念（フィロソフィー）

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化の振興に寄与し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

2 基本目標（ビジョン）

「蹴夢」夢のあるあなたが主役の熊本サッカー ～全国で有数のサッカー王国を目指す

3 基本方針（バリュー）

- (1) 安心・安全なフィールドのもと、多様性のあるサッカーをつくり、はぐくみ、ピッチにあつまり、ともに、つながり、いつでも誰もがアクセスできる熊本サッカーを目指す
- (2) フィールドに楽しみがあふれ、感動を覚え、喜びを感じることができる熊本サッカーを目指す
- (3) 新たなステージで、九州・日本・世界へと羽ばたくサッカー・ヒューマンがより多く育つ熊本サッカーを目指す

『蹴夢』 夢があるから強くなる。

サッカーを通して、まちの未来をつくる。
 COSMOSを拠点に、人・まち・文化がつながる“熊本モデル”を築き、
「まちなかスタジアム構想」を未来への象徴として発展させる。
 サッカーを通じて地域の誇りと活力を育み、誰もが夢を持ち続けられる「全国有数のサッカー王国・熊本」を実現する。



KFA

補足

『蹴夢（しゅうむ）』は、熊本県サッカー協会が長年掲げてきた理念であり、「夢があるから強くなる」という言葉は、熊本のサッカーに関わるすべての人の原動力となってきた。

本中期計画では、その精神を次の時代へと継承し、COSMOSから“まちなか”へと広がる地域共創の輪を通じて、サッカーが教育・福祉・防災・観光・経済と連動する新しい熊本の風景を描く。サッカーを軸に、地域が一体となって未来をつくる——それが熊本サッカーの新たな挑戦である。

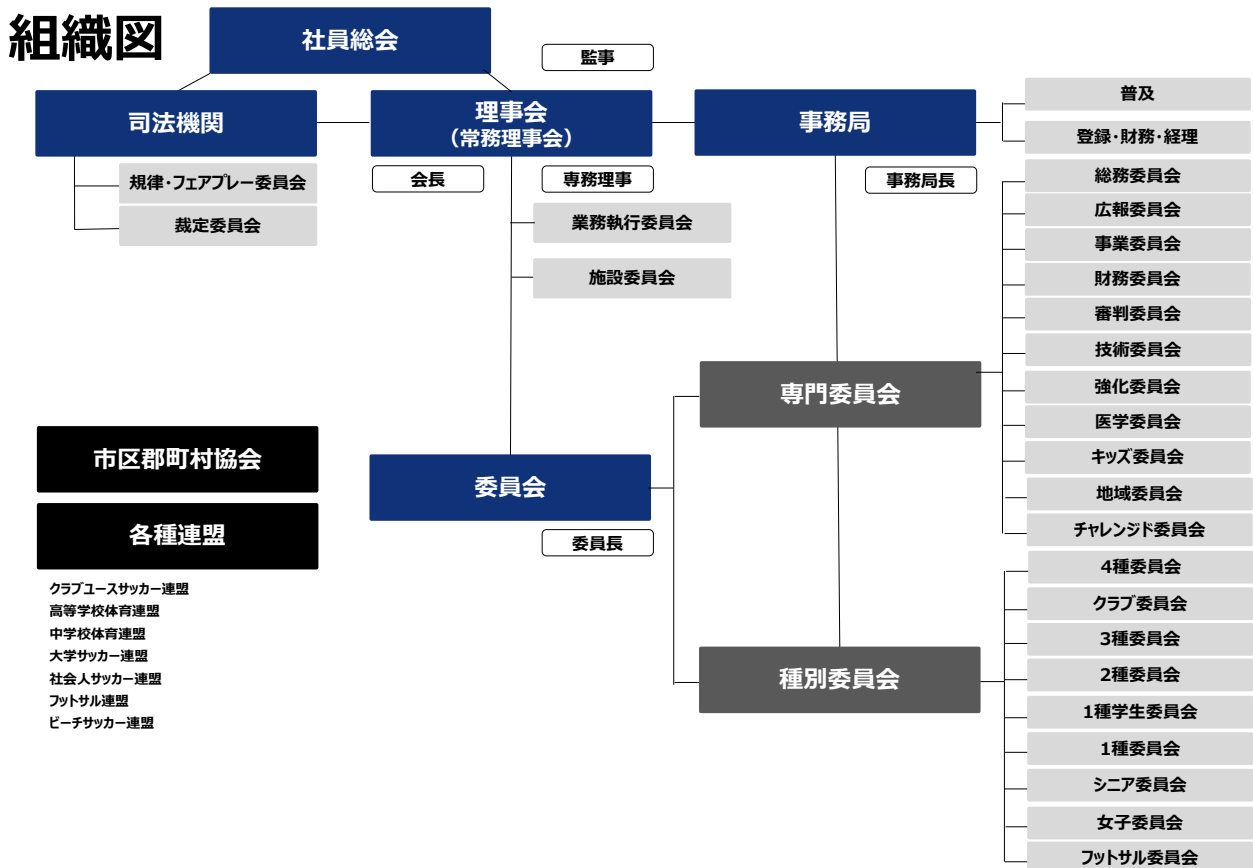
要素	意図・効果
『蹴夢』を冒頭に配置	歴史的アイデンティティの継承を強調（理念と行動の橋渡し）
「サッカーを通してまちの未来をつくる」	行政・企業・住民にも共有可能な合言葉として定着しやすい
「COSMOS→まちなかスタジアム」	長期における具体的な方向を明示
「熊本モデル」	抽象的だが柔軟性があり、他地域への発信力を持つ
「夢」「誇り」「未来」	感情的訴求と組織内外の共感軸を両立

KFA

「熊本型フットボール共創モデル」の確立COSMOSを
 拠点に、サッカーを通じて人・まち・文化がつながる。

「共創の場」を築き、普及・育成・強化・教育・地域
 連携を一体化させた熊本モデルを確立する。

「蹴夢」 - 夢があるから強くなる - の理念を礎に、誰
 もが誇れる「全国有数のサッカー王国・熊本」を実現
 する。



重点目標体系（5分野）



KFA

【第1分野】COSMOS・拠点活用と地域共創

方向性・重点方針

COSMOSの高稼働を維持しつつ、COSMOSを中心に、地域・学校・企業・行政・福祉が協働する「共創拠点」としての機能を高め、教育・防災・福祉・スポーツ振興を一体的に展開する。

目標

- ・地域に開かれた“共創型フィールド”の確立
- ・高稼働を維持しながら、質的価値（体験・交流・貢献）を拡充

主な事業

- 1.主催・共催・連携イベント
- 2.教育・防災・福祉・農業など分野横断の共創事業
- 3.福祉事業者連携による芝生管理・地域雇用創出
- 4.COSMOSブランド事業（広告・講座・レンタル等）による収益化

主なKPI（2024基準 → 2028 → 2031）

- ・年間来場者：234,000 → 235,000 → 240,000
- ・稼働率：64.2% → 65%維持
- ・イベント開催（主催・共催・連携）：5 → 8 → 10件
- ・共催事業（行政・学校・企業）：1 → 5 → 8件
- ・地域共創事業（福祉等）：3 → 10 → 15件
- ・収益事業件数：0 → 5 → 10件
- ・収益事業金額：0円 → 年200万円 → 年400万円
- ・利用者満足度：調査開始 → 90% → 92%

KFA

【第2分野】普及・育成・強化

方向性・重点方針

サッカーを通じて「続けられる仕組み」と「夢を持てる環境」を整備。
キッズからシニアまで、育成・指導・競技力を循環的に発展させる。

目標

- ・普及率・継続率の維持と向上
- ・MOCCOSフットボーラー育成を軸とした技術・人間力の育成

主な事業

- ・巡回指導・キッズフェス・地域スクール
- ・トレセン活動の強化・ユース審判員育成
- ・FAコーチを中核に育成体制の確立

主なKPI（2024基準 → 2028 → 2031）

関係委員会と調整の後、決定予定

KFA

【第3分野】人材開発と組織力強化

方向性・重点方針

協会運営を支える多様な人材を計画的に育成するとともに、業務執行委員会を中心とした**組織運営・連携体制の強化**を図る。

持続可能な協会運営基盤を確立する。

特に、女性や若手の参画を広げ、組織に多様性と継続性をもたらす。

目標

- ・業務執行委員会・各種委員会・理事会の連携強化による迅速で透明な意思決定体制を整備。
- ・女性・若手・外部人材の登用を進め、多様性を活かした運営体制を形成。
- ・内部研修・ガバナンス研修を通じて、法令遵守・倫理意識の浸透を図る

主な事業

- ・組織マネジメント体制の強化
- ・人事登用制度の整備
- ・女性理事40%体制の実現
- ・連携体制、情報共有のDX化

主なKPI（2024基準 → 2028 → 2031）

女性理事比率 13%→30%→40%

KFA

【第4分野】登録・参加促進（生涯スポーツ・女子・シニア）

方向性・重点方針

人口減少期においても「生涯を通じてサッカーを楽しむ社会」を形成。
女子・シニアを重点ターゲットに、参加層の拡大と継続率向上を図る。

目標

- ・女子・シニア領域を重点成長分野に設定
- ・各登録者数を増

主な事業

- ・はじめての女子サッカー教室
- ・シニア大会（学校OB、OG大会）
- ・地域交流会の定期開催
- ・各年代間の移行支援（小→中→高→社会人）

主なKPI（2024基準 → 2028 → 2031）

関係委員会と調整の後、決定予定

KFA

【第5分野】ガバナンス・財務

方向性・重点方針

透明性と多様な財源確保を基軸に、協会経営の安定化を図る。
ガバナンス・会計・財務・コンプライアンスの質を高め、協会の公共性を確立する。

目標

- ・透明性・説明責任・法令遵守を徹底した運営体制を構築
- ・安定した財務基盤を確保し、収益と協賛の多層化を推進
- ・協会全体でのリスクマネジメント・内部統制の定着

主な事業

- ・会計監査・財務報告書の透明化
- ・新規パートナー企業
- ・助成金・協賛・広告収益のバランス型財源確立
- ・コンプライアンス教育・ハラスメント防止研修の実施

主なKPI（2024基準 → 2028 → 2031）

- ・外部評価・報告書公開（説明付き） 0→実施→実施
- ・パートナー企業 0→10→30社
- ・協賛収入

KFA

財務計画

全体方針：縮小均衡を脱し、“投資型・拡大型”の財務へ転換する

これまでは

物価高、人件費高騰、大会増加による経費増により、赤字または事業縮小を余儀なくされてきた。しかし、中期経営計画の重点目標これらは「縮小」では達成できない。

・今後の財務の基本姿勢は“拡大への投資” 2026年度は「基盤強化と制度設計の年」

収入戦略の見直し：3つの柱で財源を強化

(1) 登録料の見直し（2027年度実施）

→ 登録料は“財務の柱”であり、2026年度の設計が中期計画の鍵となる

(2) 大会事業の“自立化”

基本原則：大会参加費 + 協賛金 = 大会の開催経費（= 自立した事業として成立させる）

(3) 専門委員会事業は“中期経営計画に基づく配分方式”へ

「予算配分の原則」

① 中期計画の重点目標 × ② 指標（KPI） × ③ 人材戦略 × ④ 事業効果

KFA

スケジュール

ゴール	2026年3月末までに、各FAが最終化（アップデート）した中期経営計画の内容について、組織内の合意・承認を得て、その後のPDCAを回し、経営を実践していく
理事会 3月	中期経営計画の最終承認 ■ 初年度（2026年度）の重点施策要確認
業務執行委員会 3月	中期計画“最終版”を承認し理事会提出へ ■ 中期計画書（最終版） ■ 財務計画・KPI（確定版） ■ 実行体制・PDCA運用（確定） ■ 理事会説明用資料（PPT）
業務執行委員会 2月	数値計画・財務計画・KPIの最終調整 ■ KPI最終案 ■ 収支計画（中期3-4年）の最終案 ■ 実行体制案（委員会、人材育成、中核人材採用など） ■ PDCA運用設計
理事会 1月	■ 方向性承認：基本方針・重点目標体系の承認 → 業務執行委員会2月までに：KPI精査、財務計画詳細化
業務執行委員会 1月	■ 構造整理・基本方針：分野構造、重点目標の承認 → 理事会1月までに：戦略案作成、KPI案、財務一次案
最終提出	2025年12月26日（第2クール）の最終提出後、直ぐにFAの組織内（事務局・各種委員会・常務理事会・理事会等）で議論できる内容に仕上げる。
業務執行委員会 12月	■ 構造整理・基本方針：分野構造、重点目標の承認 → 理事会1月までに：戦略案作成、KPI案、財務一次案

KFA



KFA

中期経営計画 -財務戦略-

2026年－2031年 委員会説明

ver2026/01/23

Kumamoto Football Association



中期経営計画

中期経営計画

2026年－2031年

Kumamoto Football Association



2017年改定：登録料は10年間維持（2027年改定予定）

「登録料改定以降で起きた環境変化（2017→2025年）」

① 物価全体の上昇（CPI）消費者物価指数

年	指数
2017年	約100
2025年	約110～112

▶ 約10～12%上昇

② 人件費（最低賃金）の上昇（熊本県）

年	金額
2017年	737円
2025年	1,034円

▶ 約+397円
40%上昇

③ 審判・指導者謝金

項目	2017年	2025年
指導者	2,000～3,000円	4,000～8,000円
主審	3,000～4,000円	4,500～6,000円
副審	1,500～3,000円	2,500～4,000円

▶ 約25～50%水準の上昇

④ 移動コスト（ガソリン代） ガソリン価格（全国平均） ▶ 約35～40%上昇

年	価格
2017年	約130円/L
2025年	約175～185円/L

⑤ 印刷・郵送・通信費郵送費（定形郵便）

年	料金
2017年	82円
2025年	110円

▶ 約+34%

⑥ スポーツ用具費の高騰（例：サッカーボール）

品目（例）	2017年	2025年	上昇率
Aサッカーボール	7,300円	8,800円	+20.5%
Bサッカーボール	5,200円	6,600円	+26.9%
Cサッカーボール	3,800円	5,000円	+31.6%

▶ 約+26%上昇

KFA

なぜ今まで耐えられたのか

登録料改定の効果+内部努力（削減・抑制・助成金活用）で“赤字化を回避”してきた

1. 2017年の登録料改定が「単年度赤字の回避」に効いた

- その後、2023年までは単年度予算で赤字を出さない編成が可能だった

2. 直近数年は「値上げではなく、削る・抑える」で均衡を保った

- 経費の見直し（運営コストの抑制）、削減により収支均衡を維持

3. 2025年は「助成金活用+削減努力」で赤字幅を圧縮

- スポーツ振興くじ助成金（toto）を申請
- 当初 -700万円 想定 → -110万円 まで改善

4. ただし、この耐え方には限界がある

- 「削る・抑える」で均衡を保つほど、成長・人材投資ができない構造になる

KFA

これ以上「削る・抑える」だけでは、運営の質と中期計画の実行が守れない

1. 収支は“均衡”でも、実態は「投資ができない均衡」

近年は、経費見直し・予算削減で収支を保ってきた。しかし、その結果「新しい打ち手」「基盤投資」を入れられない構造になっている。

2. すでに「赤字／事業縮小」の圧力が強まっている

物価高・人件費高騰・大会増加による経費増により、赤字または事業縮小を余儀なくされてきた。近年は“努力で吸収”してきたが、上昇分の累積が大きい。

* 普及を担うキッズ委員会予算は2017年1,400万→2026年430万(約69%減少)

3. 「縮小」では中期経営計画の重点目標は達成できない

基本姿勢は拡大への投資、2026年度は「基盤強化と制度設計の年」と位置付け
→ つまり、今は縮める年ではなく、整える年

4. 登録料の見直しは“財務の柱”として避けて通れない

財務戦略の収入強化は3本柱

①登録料の見直し（2027年度実施） ②大会事業の自立化 ③配分方式の見直し
登録料は“財務の柱”で、2026年度の設計が鍵

KFA

財務戦略

全体方針：縮小均衡を脱し、“投資型・拡大型”の財務へ転換する

これまでは

物価高、人件費高騰、大会増加による経費増により、赤字または事業縮小を余儀なくされてきた。しかし、中期経営計画の重点目標これらは「縮小」では達成できない。

・今後の財務の基本姿勢は“拡大への投資” 2026年度は「基盤強化と制度設計の年」

収入戦略の見直し：3つの柱で財源を強化

(1) 登録料の改定（2027年度実施）

→ 登録料は“財務の柱”であり、2026年度の設計が中期計画の鍵となる

(2) 大会事業の“自立化” = 委員会の自立

基本原則：大会参加費 + 協賛金 = 大会の開催経費 (= 自立した事業として成立させる)

(3) 専門委員会事業は“中期経営計画に基づく配分方式”へ

「予算配分の原則」

① 中期計画の重点目標 × ② 指標 (KPI) × ③ 人材戦略 × ④ 事業効果

KFA

登録料は「協会の共通基盤」を支える安定財源。大会の参加費・協賛とは役割が違う。

1. 登録料は「協会全体の共通インフラ」を支えるための会費

登録料の役割（例）

- ・ 競技環境の維持（運営体制・安全管理・規律）
- ・ 登録制度・事務手続き・ガバナンス運用（会計・監査・コンプラ）
- ・ 普及・育成・女子・シニア等の“協会として支える領域”の基盤

→登録料は、特定大会ではなく「協会全体の土台」に広く活用する財源

2. 助成金・協賛では代替できない（＝安定性が違う）

助成金：年度ごとに変動・申請採択の不確実性

協賛：景気・企業都合で変動、特定事業に紐づきやすい

参加費：大会開催数や参加状況に左右される

「毎年必ず必要な基盤経費」を支えるには、登録料の安定性が必要

3. 登録料の見直しは「大会の赤字補填」ではない

- ・大会事業は原則、参加費＋協賛金＝開催経費で自立化へ
- ・登録料は、協会全体の共通基盤へ充当

KFA

登録料だけに頼らない（＝セットで進める改革）

登録料は“協会の共通基盤”へ。大会は「参加費＋協賛」で回す＝委員会自立を進める

1. 基本方針：大会事業は「自立した事業」として成立させる

原則：大会参加費＋協賛金＝大会の開催経費（＝自立運営）

収支構造を説明できる状態へ（透明性・説明責任）

2. 例外的配慮：公益性が高く市場規模が小さい分野は「準自立」をゴールに

完全自立：事業収入（参加費＋協賛）≥ 事業支出

準自立：事業収入 ≥ 事業支出の70～90%

育成段階：協会補助あり（改善計画必須）

→公益性を踏まえて段階設計する

【2026】見える化・基礎整備フェーズ

目的：自立の土台づくり

各委員会の取り組み

- ・ 予算書の見直し（事業単位）
- ・ 参加費の算出根拠を明文化
→統一規程に沿って理想収支を設定
- ・ 協賛メニューの統一フォーマット導入

財務委員会が担うこと

- ・ 支払規程・会計処理の統一
- ・ 赤字事業の要因分析サポート

マーケティング担当

- ・ 協賛提案書作成の伴走支援

ゴール：

「なぜ赤字／黒字かを説明できる状態」

【2027】収益構造転換フェーズ

目的：参加費・協賛で回る仕組みを実装

各委員会の取り組み

- ・ 参加費の段階的見直し（急激な値上げは避ける）
- ・ 年間協賛（委員会スポンサー）の導入
- ・ 複数事業を束ねたパッケージ協賛

業務執行委員会・財務委員会が担うこと

- ・ 自立度の評価 → 支援
- ・ 予算補正

マーケティング担当

- ・ 協賛提案書作成の伴走支援

ゴール：

全委員会が「準自立以上」に到達

【2028】自走・評価フェーズ

目的：自立運営の定着

原則ルール

- ・ 完全自立委員会：協会補助なし
 - ・ 準自立委員会：限定補助（目的明確化）
 - ・ 育成段階委員会：
→ 改善計画提出
- 業務執行委員会・財務委員会が担うこと
- ・ 支払規程の統一化
 - ・ 複数委員会連携事業
 - ・ 余剰金積立についての制度化

ゴール：

「委員会＝一つの小さな事業体」として機能

KFA

「値上げ」ではなく、これまでの維持を続けるための整備（更新）です。

10年間、コスト上昇を努力で吸収してきましたが、これ以上は運営の質と安全を守れないため、持続可能にするための見直しを行います。

「負担を増やす」ためではなく、プレー環境を守り、続けるための改定です。

審判・安全管理・大会運営など、当たり前前環境を当たり前前に維持し続けるための調整です。

		現在	改定
チーム登録料			¥ 10,000
現在との 差額	シニア	¥10,000	¥0
	社会人	¥13,000	¥-3,000
	大学・高専	¥10,000	¥0
	高校・クラブ	¥5,000	¥5,000
	中学・クラブ	¥3,000	¥7,000
	小学校	¥3,000	¥7,000

1チームあたり
-3,000円～
7,000円/年増
(-250円～584円/月増)

		現在	改定
選手登録料			
	シニア	¥ 2,500	¥3,000
	1種	¥ 3,000	¥3,500
	U18	¥ 1,700	¥2,200
	U15	¥ 1,200	¥1,700
	U12	¥ 500	¥1,000

1選手あたり
500円/年増
(42円/月増)

登録料は「何に使われるのか」

登録料は“協会の共通基盤（インフラ）”に充当し、安心・安全と運営品質を維持するために使う

1. 安心・安全な競技環境（最低限の土台）

大会運営の安全管理（事故・トラブル対応、運営体制の維持）
規律・フェアプレー、コンプライアンス対応（相談窓口・研修等）
競技環境の品質維持（人工芝・天然芝の施設を利用、必要備品・用具）

2. 登録・制度運用（毎年必ず発生する“基盤業務”）

登録事務・システム運用・問い合わせ対応
事務局機能（会員対応、対外調整、文書管理）
法人運営に必要な事務（規程管理、会議体運営）

3. ガバナンス・会計の透明化（信頼の土台）

会計処理の適正化、監査対応、財務報告の質向上
支払規程・会計ルールの一貫（説明責任を果たせる体制づくり）
→中期計画が掲げる「ガバナンス・コンプライアンス強化」「適切な会計処理」を実装

4. 普及・育成・女子・シニア等（“協会として支える領域”の下支え）

人口減少期でも参加を支える取り組み（普及・継続の仕組み）

5. 環境整備 COSMOS（熊本県フットボールセンター）の維持整備

KFA

これからも、安心してプレーできる環境
を守るために。

登録料は、競技環境と運営の基盤を
支える、持続可能な形へ整えます。

KFA

2026 年度事業計画(案)

2026.3. 31 現在

<p>【基本的考え方】</p> <p>① (公財) 日本サッカー協会 JFA 中期計画 2023—2026 および当協会の「基本構想」に「中期計画 (2025—2028) 」をとり、会長指針である『熊本県を全国で有数のサッカー王国に育てる』</p> <p>② ヴォルテールセンター (COSMOS) を最大限に活用した取組みを促進し、充実させる。</p> <p>以下の通り、2026 年度の経営計画を策定する。</p>
--

重点目標体系 (5 分野)

<p>【第 1 分野】COSMOS・拠点活用と地域共創</p> <p>方向性・重点方針</p> <p>COSMOS の高稼働を維持しつつ、COSMOS を中心に、地域・学校・企業・行政・福祉が協働する。</p> <p>「共創拠点」としての機能を高め、教育・防災・福祉・スポーツ振興を一体的に展開する。</p> <p>具体的取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災拠点としての COSMOS の整備・維持管理として駐車場のアクセス化。 ● 稼働率 65% の維持。各種別委員会事業を優先し、アクセスを活用して行う。他施設との共有を図る。

<p>【第 2 分野】普及・育成・強化</p> <p>方向性・重点方針</p> <p>サッカーを通じて「続けられる仕組みと夢を育てる環境」を整備する。</p> <p>キッズからシニアまで、育成・指導・競技力を循環的に発展させる。</p> <p>具体的取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FA コーチや技術委員会メンバーと連携し、選手発掘に力を入れ、熊本からよりよいプレイヤーを輩出する。 ● 地区 N、県 N とともに指導者の質が担保され、全地区・カテゴリーで一貫指導体制を確立すること。また、熊本県としての方向性を全員が共有認識できるようにする。 ● 全体の認識を上げるために、全カテゴリーの選手・保護者含めて合同説明会・ミニイベントを実施する。 ● 暴力・暴言のない安全安心な競技環境を整備するため、指導者・保護者への啓発活動や研修を実施するとともに、大会要項等にもスベットの考え方を明示し、健全育成を推進する。 ● クラウドエデュケーション配量の義務化を進め、養成研修会を年間 1 回は行う。 ● シニアリーグは各カテゴリーを通年開催とし、年間を通じて余裕のある試合間隔で実施する。
--

<p>【第 3 分野】人材開発と組織力強化</p> <p>方向性・重点方針</p> <p>協会運営を支える多様な人材を計画的に育成するとともに、業務執行委員会を中心とした組織運営・連携体制の強化を図る。</p> <p>持続可能な協会運営基盤を確立する。特に、女性や若手の参画を広く、組織に多様性と継続性をもたらす。</p> <p>具体的取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各委員の意見しやすい環境づくりに配慮し、よりよい委員会運営を目指す。役割の固定化を防ぎ、新しい人材 (外部からの採用、または若手・異能の抜擢) も積極的に受け入れる。
--

<p>【第 4 分野】登録・参加促進 (生涯スポーツ・女子・シニア)</p> <p>方向性・重点方針</p> <p>人口減少期においても「生涯を通じてサッカーを楽しむ社会」を形成。</p> <p>女子・シニアを重点ターゲットに、参加層の拡大と継続率向上を図る。</p> <p>具体的取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 普及プロジェクト、キッズ委員会、地域協会および 4 種委員と連携し、普及事業へ参画し、登録者数維持に努める。 ● 女子委員会と大会日程の事前調整を図り、活動機会が制限されないよう配慮する。 ● 各チーム指導者と連携し、熊本でプロジェクトの活用を推奨する。 ● 年間を通じて活動により、シニア世代の選手寿命の延長を図るとともに、シニアサッカーファミリーの交流をより長く継続できる環境づくりを整備する。 ● 高校サッカー OB 大会の開催。
--

<p>【第 5 分野】ガバナンス・財務基盤</p> <p>方向性・重点方針</p> <p>透明性と多様な財源確保を基軸に、協会経営の安定化を図る。</p> <p>ガバナンス・会計・財務・コンプライアンスの質を高め、協会の公共性を確立する。</p> <p>具体的取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● KFA の協賛獲得力を強化し、自主財源拡大を図る。 ● e-ガバナンス人材は、協賛の仕組みづくり、委員会の営業力を育て、若い世代を巻き込み、協会の未来の収益と人材基盤を支える存在とする。 ● 旅費規程の統一及び支払い方法 (振込) への移行 ● 現金支払いを極力減らし、支払い記録の明確化、会計処理の透明性向上、事務負担の軽減を図るもの。

2025 (令和7) 年度事業報告

■ 1種学生委員会

No.	事業 (大会) 名	日 程	会 場	結 果	備 考
1	2025 1種学生委員会総会	4/5(土) 18時	東海大学熊本キャンパス		
2	KFA 第49回熊本地区高専サッカー大会	5/18(土)	熊本高専熊本キャンパスグラウンド	優勝：有明高専	
3	KFA 2025年度KUMAMOTO学生フェスティバル(兼 KFA 第30回熊本県サッカー選手権大会学生委員会代表決定戦)	3/3(火), 14(土), 28(土)	COSMOS, 熊本学園大学西合志総合グラウンド, 東海大学松前記念サッカー場	熊本県サッカー選手権 1種学生委員会第1代表決定戦 熊本学園大学9-1熊本大学医学部第2代表決定戦 東海大学熊本8-0熊本大学	3/3(火)は強化試合 熊本大学, 熊本大学医学部, 崇城大学, 高専八代
リーグ					
1	KFA 2025年度大杉林杯争奪熊本県学生リーグ大会	5/10(土)~11/22(土)	県内各大学, 高専グラウンド	優勝：熊本学園大学 準優勝：東海大学熊本	

No.	事業 (大会) 名	日 程	会 場	結 果	備 考
1	KFA 第29回熊本県サッカー選手権大会(兼 天皇杯 JFA第104回全日本サッカー選手権大会)	4/27(日)・5/11(日)	COSMOS	東海大学熊本 1-2 イロントリル熊本FC 熊本学園大学 1-3 ヴァーゴール熊本	
2	KFA 第40回九州大学サッカーリーグ(2部・3部)	4/12(土)~11/15(土)	九州各県グラウンド	熊本学園大学：2部 2位 東海大学熊本：2部 4位 熊本大学：3部 4位	熊本学園大学は昇格プレーオフへ 東海大学熊本は2部残留 熊本大学は3部残留
3	第6回九州・山口医科学学生大会	5/3(金)~5(日)	沖縄県総合運動公園	熊本大学医学部：準々決勝敗退	
4	KFA 第49回九州大学サッカートーナメント大会	6/21(土)~7/5(土)	九州各県グラウンド	熊本大学医学部：2回戦敗退 熊本学園大学：2回戦敗退 東海大学熊本：1回戦敗退 熊本大学：1回戦敗退	
5	第77回西日本医学科生総合体育大会	8/10(日)~15(金)	梅志田サッカー競技場 他(鹿児島県)	熊本大学医学部：2回戦敗退	
6	第62回九州沖縄地区高専体育大会サッカー競技	11/7(金)~9(日)	熊本県宮八代運動公園	高専熊本：準優勝, 高専八代：2回戦敗退	
7	第40回九州各県大学リーグ決勝大会	11/21(金)~23(日)	福岡フットボールセンター	熊本大学医学部：準決勝敗退 崇城大学：初戦敗退	
8	2025年度九州大学サッカーリーグ残留・昇格プレーオフ	11/29(土)	沖縄国際大学グラウンド	熊本学園大学 2-2 沖縄国際大学	規定により熊本学園大学は1部昇格
9	第60回全国高等専門学校体育大会サッカー競技 兼 第58回全国高等専門学校サッカー選手権大会	12/20(土)~24(水)	KUROKIRI STADIUM 他(宮崎県)	高専熊本：準優勝	
10	山崎杯 KFA 第32回九州高等専門学校U-19サッカー大会	3/7(土), 8(日)	グロームバルブリーナ(福岡県)	高専八代：準優勝, 高専熊本：5位	

2025年度 1種学生委員会 事業報告・決算報告(一覧)

N 事業番号	O 事業名	1	2	3	4	5
		401	402	403	404	405
	管理費		KFA 2025年度 KUMAMOTO 学生フェスティ バル	KFA 第49回熊 本地区高専 サッカー大会	KFA 2025年 度大杉杯争奪 熊本県学生 リーグ大会	第62回(令和7 年度)九州沖 縄地区国立高 等専門学校体 育大会サッ カー競技

1 収入の部

NO	勘定科目	金額	金額	金額	金額	金額	合計
5285	熊本県サッカー協会	210,000	60,000	10,000	70,000	60,000	410,000
5261	日本協会 47FA	0	0	0	0	0	0
5262	日本協会 各種大会	0	0	0	0	0	0
5265	九州協会	0	0	0	0	0	0
5266	各連盟	0	0	0	0	0	0
5270	熊本県スポーツ協会	0	0	0	0	0	0
5280	熊本県	0	0	0	0	0	0
5290	その他補助金	0	0	0	0	489,630	489,630
5221	参加料	0	93,000	30,000	210,000	0	333,000
5222	協賛金	0	0	0	0	0	0
5223	その他事業収入	0	0	0	0	0	0
5411	受取利息	0	0	0	0	0	0
5412	雑収入	1,028	0	0	0	0	1,028
	収入計(A)	211,028	153,000	40,000	280,000	549,630	1,233,658

2 支出の部

NO	勘定科目	金額	金額	金額	金額	金額	合計
201	諸謝金	0	34,000	27,000	155,500	0	216,500
202	旅費	25,000	11,000	2,000	0	0	38,000
203	賃借料	0	52,800	0	0	254,030	306,830
204	消耗品費	68,066	0	7,680	31,200	55,000	161,946
205	備品	0	0	0	0	0	0
206	印刷製本費	0	0	0	0	0	0
207	通信運搬費	820	0	0	1,580	0	2,400
208	賃金	92,000	54,000	0	91,000	0	237,000
209	会議費	25,000	0	0	0	0	25,000
210	委託料	0	0	0	0	219,000	219,000
211	支援金等	0	0	0	0	0	0
212	雑役務費	0	0	0	0	0	0
213	その他	0	1,112	3,100	0	21,600	25,812
	支出計(B)	210,886	152,912	39,780	279,280	549,630	1,232,488

収支差(A)-(B)	142	88	220	720	0	1,170
経費率	100%	100%	99%	100%	100%	100%

KFA 2025年度大杉杯争奪熊本県学生リーグ大会

出納帳

入カ方法解説動画

KFA 2025年度大杉杯争奪熊本県学生リーグ大会

事業番号

404

補助科目

残高

科目コード	勘定科目名称	入金集計額	出金集計額
5265	熊本県サッカー協会	70,000	0
5261	日本協会 47FA	0	0
5262	日本協会 各種大会	0	0
5265	九州協会	0	0
5270	熊本県サッカー協会	0	0
5280	熊本県	0	0
5290	その他補助金	0	0
5221	参加料	210,000	0
5222	協賛金	0	0
5223	その他事業収入	0	0
5411	受取利息	0	0
5412	雑収入	0	0
201	諸謝金	0	155,500
202	旅費	0	0
203	賃借料	0	0
204	消耗品費	0	31,200
205	備品	0	0
206	印刷製本費	0	0
207	通信運搬費	0	1,580
208	賃金	0	91,000
209	会費	0	0
210	委託料	0	0
211	交際金等	0	0
212	雑投資費	0	0
213	その他	0	0
	合計	280,000	279,280

収支合計

720

領収書No	科目	日付	支払先/受取先	摘要	入金	出金	部門
5235	熊本県サッカー協会	5/9	会計担当 香口 隆	予算	70,000		
5221	参加料	5/9	会計担当 香口 隆	7チーム×30,000円	210,000		
201	諸謝金	5/10	山本氏 他3名	審判謝金 5,10分	7,500	280,000	
208	賃金	5/10	村山氏	試合責任者 会場担当者 賃金 5,10分	4,000	268,500	
201	諸謝金	5/11	吉井氏 高村氏	審判謝金 5,11分 ※A1 審分(高専熊本担当)は別途領収書作成予定	5,000	263,500	
208	賃金	5/11	若上氏 田嶋氏	試合責任者 会場担当者 賃金 5,11分	4,000	259,500	
201	諸謝金	5/31	豊島氏 他3名	審判謝金 5,31分	8,000	251,500	
208	賃金	5/31	中村氏 川部氏	試合責任者 会場担当者 賃金 5,31分	4,000	247,500	
201	諸謝金	5/31	吉井氏 他3名	審判謝金 5,31分	8,000	239,500	
208	賃金	5/31	上田氏 立野氏	試合責任者 会場担当者 賃金 5,31分	4,000	235,500	
201	諸謝金	6/14	尾藤氏 他3名	審判謝金 6,14分	7,500	228,000	
208	賃金	6/14	若上氏 内村氏	試合責任者 会場担当者 賃金 6,14分	4,000	224,000	
201	諸謝金	6/14	辻藤氏 他3名	審判謝金 6,14分	6,500	217,500	
208	賃金	6/14	植里氏	試合責任者 会場担当者 賃金 6,14分	4,000	213,500	
201	諸謝金	6/21	北野氏 他3名	審判謝金 6,21分	6,500	207,000	
208	賃金	6/21	藤原氏 他3名	試合責任者 会場担当者 賃金 6,21分	4,000	203,000	
201	諸謝金	6/28	永原氏 他3名	審判謝金 6,28分	6,500	196,500	
208	賃金	6/28	村山氏	試合責任者 会場担当者 賃金 6,28分	4,000	192,500	
201	諸謝金	6/28	藤氏 他3名	審判謝金 6,28分	7,500	185,000	
208	賃金	6/28	川部氏 前村氏	試合責任者 会場担当者 賃金 6,28分	4,000	181,000	
201	諸謝金	7/20	山本氏 他3名	審判謝金 7,20分	8,000	173,000	
208	賃金	7/20	中村氏 川部氏	試合責任者 会場担当者 賃金 7,20分	4,000	169,000	
201	諸謝金	7/22	日本郵便	試合書類返信用封筒送付切手代 180円×4枚 140円×1枚	860	168,140	
207	通信運搬費	9/29	平野氏 東山氏	審判謝金 5,11分 ※A1 審分(高専熊本担当)	2,500	165,640	
201	諸謝金	10/4	宇ノ木氏 他3名	審判謝金 10,4分	7,500	158,140	
208	賃金	10/4	新谷氏 緒方氏	試合責任者 会場担当者 賃金 10,4分	4,000	154,140	
201	諸謝金	10/4	草野氏 他3名	審判謝金 10,4分	4,000	149,640	
208	賃金	10/4	川部氏	試合責任者 会場担当者 賃金 10,4分	7,500	142,640	
201	諸謝金	10/11	永井氏 他3名	審判謝金 10,11分	4,000	138,140	
208	賃金	10/11	森山氏 山内氏	試合責任者 会場担当者 賃金 10,11分	4,000	134,140	
201	諸謝金	10/18	川部氏 他3名	審判謝金 10,18分	8,500	126,640	
208	賃金	10/18	田川氏 他3名	試合責任者 会場担当者 賃金 10,18分	4,000	122,640	
201	諸謝金	10/18	植里氏 大嶋氏	審判謝金 10,18分	4,000	118,640	
208	賃金	10/18	林氏 他3名	試合責任者 会場担当者 賃金 10,18分 ※郵送中	4,000	114,640	
201	諸謝金	10/25	平氏 川口氏	審判謝金 10,25分	4,000	110,640	
208	賃金	10/25	村山氏 他3名	試合責任者 会場担当者 賃金 10,25分	4,000	107,140	
201	諸謝金	11/1	西氏 他3名	審判謝金 11,1分	4,000	103,140	
208	賃金	11/1	北野氏 他3名	試合責任者 会場担当者 賃金 11,1分	6,500	96,640	
201	諸謝金	11/1	藤原氏	審判謝金 11,1分	4,000	92,640	
207	通信運搬費	5/1	日本郵便	試合書類返信用封筒送付切手代 110円×1枚 210円×1枚 郵送料110円	430	74,710	
201	諸謝金	11/8	山本氏 他3名	審判謝金 11,8分	7,500	67,210	
208	賃金	11/8	後藤氏 他3名	試合責任者 会場担当者 賃金 11,8分	8,000	63,210	
201	諸謝金	11/9	川部氏	審判謝金 11,9分	4,000	59,210	
208	賃金	11/9	吉井氏 他3名	試合責任者 会場担当者 賃金 11,9分	8,000	51,210	
201	諸謝金	11/22	川部氏	審判謝金 11,22分	4,000	47,210	
208	賃金	11/22	田嶋氏 他3名	試合責任者 会場担当者 賃金 11,22分	4,000	43,210	
207	通信運搬費	12/10	ハヤカワスポーツ(株)	試合書類返信用封筒送付切手代 110円×1枚 180円×1枚	290	38,920	
208	賃金	12/14	中村氏	学運事務局賃金 1000円×7ヵ月	7,000	31,920	
				委員会管理費(移出)720		720	
				※2026/3/26決算終了(加除修正禁止)		720	

監査報告書

2026年 4月 1日

一般社団法人熊本県サッカー協会

1種学生 委員長

村山 浩一 様

1種学生 委員会

熊本県学生サッカー連盟事務局長

署名 湊 尚己

私は、2026年 4月 1日、当委員会の2025年4月1日から翌3月31日までの事業年度の会計について監査を行いました。

事業は適正に実施され、会計決算は諸帳簿と証拠書類等を精査したところ、いずれも適正に処理されていることを認めましたので、ここに報告いたします。

2026(令和8)年度事業計画

■ 1種学生委員会					
No.	事業(大会)名	日程	会場	内容	主催
1	2026 1種学生委員会総会	4/4(土) 18時	東海大学熊本キャンパス	会議	1種学生委員会
2	KFA 第50回熊本地区高専サッカー大会	5/16(土)	有明高専グラウンドグラウンド	3チームによるリーグ戦	熊本県サッカー協会
3	KFA 2026年度KUMAMOTO学生フェスティバル(兼 KFA 第31回熊本県サッカー一選手権大会学生委員会代表決定戦)	2月～3月	COSMOS他	トーナメント戦	熊本県サッカー協会
リーグ					
1	KFA 2026年度大杉杯争奪熊本県学生リーグ大会	4月～11月	県内各大学、高専グラウンド	リーグ戦	熊本県サッカー協会

学生委員会関連大会					
No.	事業(大会)名	日程	会場	内容	備考
1	KFA 第30回熊本県サッカー一選手権大会	4/26(日)・5/10(日)	COSMOS	トーナメント戦	熊本学園大学、東海大学熊本
2	KFA 第41回九州大学サッカーリーグ(1部・2部・3部)	4月～11月	九州各県グラウンド	リーグ戦	1部：熊本学園大学 2部：東海大学熊本 3部：熊本大学
3	KFA 第50回九州大学サッカートーナメント大会	4月～7月	九州各県グラウンド	予選リーグ戦・決勝トーナメント戦	熊本学園大学、東海大学熊本、熊本大学
4	第65回九州・山口医科学学生体育大会	5/2(土)～5(火)	山口きらら博記念公園サッカー・ラグビー場(山口県)	トーナメント戦	熊本大学医学部
5	第78回西日本医科学学生総合体育大会	8/13(木)～20(木)	高岡スポートコア他(富山県)	トーナメント戦	熊本大学医学部
6	第63回九州沖縄地区高専体育大会サッカー競技	11/13(金)～15(日)	島原市営平成町人工芝グラウンド	トーナメント戦	高専熊本、高専八代
7	第41回九州各県大学リーグ決勝大会	11月下旬	未定	トーナメント戦	九州大学サッカーリーグに所属しない学生リーグの成績が最上位の大学
8	山崎杯 KFA 第33回九州高等専門学校U-19サッカー大会	3/6(土)、7(日)	未定(大分県)	予選リーグ戦・決勝トーナメント戦	高専熊本、高専八代

1種(学生)委員会

1 収入の部

科 目	0	1	2	3	4	5	合 計
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	
	委員会管理費	KFA 第50回熊本地区高専サッカー大会	KFA 2026年度 KUMAMOTO 学生フェスティバル(兼 KFA 第31回熊本)	KFA 2026年度 大杉杯争奪熊本県学生リーグ大会			
① 県サッカー協会予算	210,000	10,000	60,000	70,000	0	0	350,000
② 47FA一括補助金	0	0	0	0	0	0	0
③ JFA補助金	0	0	0	0	0	0	0
④ 九州FA補助金	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 熊本県体協補助金	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 熊本県補助金	0	0	0	0	0	0	0
⑦ その他補助金	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 参加料	0	39,000	70,000	210,000	0	0	319,000
⑨ 協賛金	0	0	0	0	0	0	0
⑩ その他事業収入	0	0	0	0	0	0	0
⑪ その他雑収入	0	0	0	0	0	0	0
⑫ 受取利息	0	0	0	0	0	0	0
合計 (A)	210,000	49,000	130,000	280,000	0	0	669,000

2 支出の部

科 目	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額
① 諸謝金	0	25,500	14,000	168,000	0	0	207,500
② 旅費	36,000	3,000	8,000	0	0	0	47,000
③ 賃借料	0	0	70,400	0	0	0	70,400
④ 消耗品費	12,000	9,000	0	22,000	0	0	43,000
⑤ 備品	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 通信運搬費	1,000	0	0	0	0	0	1,000
⑧ 賃金	115,000	4,000	28,000	90,000	0	0	237,000
⑨ 会議費	46,000	0	0	0	0	0	46,000
⑩ 雑役務費	0	0	0	0	0	0	0
⑪ その他	0	7,500	9,600	0	0	0	17,100
							0
合計 (B)	210,000	49,000	130,000	280,000	0	0	669,000

(A)-(B)	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---

様式1-2

事業名	委員会管理費
-----	--------

[収入]

(単位:円)

	科目	金額	適用(内訳)/備考
①	県サッカー協会予算	210,000	30,000円*7チーム
②	47FA一括補助金		
③	JFA補助金		
④	九州FA補助金		
⑤	熊本県体協補助金		
⑥	熊本県補助金		
⑦	その他補助金		
⑧	参加料		
⑨	協賛金		
⑩	その他事業収入		
⑪	その他雑収入		
⑫	受取利息		
	合計	210,000	

[支出]

	項目	金額	適用(内訳)/備考
①	諸謝金		
②	旅費	36,000	役員会議出席交通費(九州学連)7,500円*1名*2回、会議交通費1,000円*8名*2回+2500円*1名*2回
③	賃借料		
④	消耗品費	12,000	コピー用紙2,000円、プリンタナー・インク10,000円
⑤	備品		
⑥	印刷製本費		
⑦	通信運搬費	1,000	切手・郵送代
⑧	賃金	115,000	委員長賃金5,000円/月*1名*12ヶ月、副委員長賃金3,000円/月*1名*12ヶ月、学連事務局長賃金1,000円/月*1名*12ヶ月、学連事務局員賃金1,000円/時間*7名*1時間
⑨	会議費	46,000	1種学生委員会会議日当2,000円*10名(学生部会7チーム,委員長,副委員長,学連事務局長)*2回,九州学連会議費日当3,000円*2回
⑩	雑役務費		
⑪	その他		
	合計	210,000	

収支

0

様式1-2

事業名	KFA 第50回熊本地区高専サッカー大会
-----	----------------------

[収入]

(単位：円)

	科目	金額	適用（内訳）/備考
①	県サッカー協会予算	10,000	
②	47FA一括補助金		
③	JFA補助金		
④	九州FA補助金		
⑤	熊本県体協補助金		
⑥	熊本県補助金		
⑦	その他補助金		
⑧	参加料	39,000	13,000円*3チーム
⑨	協賛金		
⑩	その他事業収入		
⑪	その他雑収入		
⑫	受取利息		
	合計	49,000	

[支出]

	項目	金額	適用（内訳）/備考
①	諸謝金	25,500	審判謝金R6,000円・A1/2 1,000円・4th500円*3試合
②	旅費	3,000	審判交通費1,000円*3名
③	賃借料		
④	消耗品費	9,000	優勝トロフィー
⑤	備品		
⑥	印刷製本費		
⑦	通信運搬費		
⑧	賃金	4,000	事務局費1,000円/時間*1名*4時間
⑨	会議費		
⑩	雑役務費		
⑪	その他	7,500	審判弁当800円*3名、飲料水代2,100円、石灰代1,000円*3袋
	合計	49,000	

収支	0
----	---

様式1-2	
事業名	KFA 2026年度KUMAMOTO学生フェスティバル(兼 KFA 第31回熊本県サッカー選手権大会学生委員会代表決定戦)

[収入]

(単位：円)

	科目	金額	適用（内訳）/備考
①	県サッカー協会予算	60,000	
②	47FA一括補助金		
③	JFA補助金		
④	九州FA補助金		
⑤	熊本県体協補助金		
⑥	熊本県補助金		
⑦	その他補助金		
⑧	参加料	70,000	10,000円*7チーム
⑨	協賛金		
⑩	その他事業収入		
⑪	その他雑収入		
⑫	受取利息		
	合計	130,000	

[支出]

	項目	金額	適用（内訳）/備考
①	諸謝金	14,000	審判謝金R6,000・A1/2 3,000・4th2,000*1試合
②	旅費	8,000	審判交通費1,000円*4名、役員交通費1,000円*4名
③	賃借料	70,400	グラウンド使用料4,400円/時*8h*2日
④	消耗品費		
⑤	備品		
⑥	印刷製本費		
⑦	通信運搬費		
⑧	賃金	28,000	役員日当2,000円*4名、事務局費1,000円/時間*4名*5時間
⑨	会議費		
⑩	雑役務費		
⑪	その他	9,600	審判・役員弁当1,000円*8名、飲料水代1,600円
	合計	130,000	

収支	0
----	---

様式1-2	
事業名	KFA 2026年度大杉杯争奪熊本県学生リーグ大会

[収入]

(単位：円)

	科目	金額	適用（内訳）/備考
①	県サッカー協会予算	70,000	
②	47FA一括補助金		
③	JFA補助金		
④	九州FA補助金		
⑤	熊本県体協補助金		
⑥	熊本県補助金		
⑦	その他補助金		
⑧	参加料	210,000	30,000円*7チーム
⑨	協賛金		
⑩	その他事業収入		
⑪	その他雑収入		
⑫	受取利息		
	合計	280,000	

[支出]

	項目	金額	適用（内訳）/備考
①	諸謝金	168,000	審判謝金 R 3,500円・A1 2,000円・A2 1,500円・4th 1,000円*21試合
②	旅費		
③	賃借料		
④	消耗品費	22,000	トロフィー7,000円*1個・6,000円*1個・4,500円*2個
⑤	備品		
⑥	印刷製本費		
⑦	通信運搬費		
⑧	賃金	90,000	役員日当2,000円*2名*21試合, 運営委員賃金1,000円*6h
⑨	会議費		
⑩	雑役務費		
⑪	その他		
	合計	280,000	

収支	0
----	---

2026 年度各委員会事業目標・計画について

(一社) 熊本県サッカー協会

委員会名 : 1 種学生委員会委員長名 : 村山 浩一**事業目標・計画****1. 1 種学生委員会所属各チームの強化と競技力向上**

学生リーグ, KUMAMOTO 学生フェスティバル, 熊本地区高専大会の実施を通して, 1 種学生委員会所属チームの強化と競技力向上を目指す。

2. 熊本県学生サッカー連盟の組織力強化と人財の育成

熊本県学生サッカー連盟の組織力を強化し, 自立的な活動がおこなえるような体制を構築すると共に, 将来的に熊本県のサッカーの発展に貢献できるような人財を育成する。

3. 審判資格取得の推進と審判員の育成

1 種学生委員会として審判資格取得を推進すると共に, 3 級審判員の育成をおこなう。

目標・計画に対しての補足説明**1. 1 種学生委員会所属各チームの強化と競技力向上**

1 種学生委員会所属の全大学・高専が参加する学生リーグを中心に, KUMAMOTO 学生フェスティバル, 熊本地区高専大会において試合の機会を提供し, 各チームの強化に繋げていくと共に, 熊本県の学生サッカーの競技力向上を図る。大学においては, 九州大学サッカーリーグへ所属するチームが 3 チーム以上(その内 1 部リーグ所属が 1 チーム以上)と熊本県サッカー選手権優勝, 高専においては高専全国大会の出場権獲得を目標とする。

2. 熊本県学生サッカー連盟の組織力強化と人財の育成

各大学・高専から選出された委員により構成される熊本県学生サッカー連盟の組織力を強化し, 自立的に各種大会等の企画, 立案, 運営, 会計等ができるような体制を整備すると共に, 1 種学生委員会の中から将来的に熊本県のサッカーの発展に貢献できるような人財の育成を目指す。

3. 審判資格取得の推進と審判員の育成

1 種学生委員会所属チームを対象として 4 級審判講習会を実施し, 審判資格保有者が全登録選手の 20%以上, 各チームに 3 級審判員が所属することを目標とする。

提出期日 : 3 月 2 3 日 (月) 期日厳守 ※ 3 月 2 5 日 (水) 第 4 回理事会時に提案

2026(令和8)年度 一種学生委員会事務局・専門委員(案)

		氏名	連絡先		備考
			携帯TEL	E-mail	
事務局体制	委員長	村山 浩一	090-3326-7561	murayama.koichi@kumamoto-nct.ac.jp	高専八代
	副委員長	齊藤 嵩人	090-4342-9881	zrma3125@yahoo.ne.jp	東海大学熊本
	事務局長	齊藤 嵩人	090-4342-9881	zrma3125@yahoo.ne.jp	東海大学熊本
	会計担当者	村山 浩一	090-3326-7561	murayama.koichi@kumamoto-nct.ac.jp	高専八代
	会計監事	湊 尚己	090-6297-7030	kumamotogakuren2017@yahoo.co.jp	東海大学熊本
	学生サッカー連盟事務局長	湊 尚己	090-6297-7030	kumamotogakuren2017@yahoo.co.jp	東海大学熊本
専門委員	総務委員	村山 浩一	090-3326-7561	murayama.koichi@kumamoto-nct.ac.jp	高専八代
	財務委員	村山 浩一	090-3326-7561	murayama.koichi@kumamoto-nct.ac.jp	高専八代
	広報委員	上野 賢仁 藤原 大樹	070-5486-0294	ueno@ed.sojo-u.ac.jp hfujiwara@ed.sojo-u.ac.jp	崇城大学
	事業委員	東 賢太郎	090-5489-3966	wonderlefty3@gmail.com	熊本学園大学
	規律・フェアプレー委員	宇ノ木 寛文	090-9577-7207	unoki@kumamoto-nct.ac.jp	高専八代
	審判委員	藤島 浩樹	080-4275-6766	kgu_beautiful_tale@yahoo.co.jp	審判委員会
	技術委員	川部 靖徳	090-7986-1131	ky0530@tokai.ac.jp	東海大学熊本
	強化委員	川部 靖徳	090-7986-1131	ky0530@tokai.ac.jp	東海大学熊本

大項目 2. 種別委員会

小項目 b. 1 種学生委員会

全1頁

2026/4/1 改定

費用弁済・各種手当一覧(対象事業及び費用の支給限度)

(1) 諸謝金(科目:①諸謝金)

摘要	内容	金額	備考
審判謝金	主審	7,000 円以内/	1 試合
	副審	4,000 円以内/	1 試合
	第四審	2,000 円以内/	1 試合
マッチコミッショナー謝金	MC 業務	5,000 円以内/	1 試合
審判アセッサー謝金	アセッサー業務	5,000 円以内/	1 試合
講師謝金	指導・講演	5,000 円以内/	1 コマ

(2) 旅費(科目:②旅費)

- 私有車利用の場合(走行距離)
 - ・旅費精算は、35 円/1Km で支給する。
 - ・高速道路通行料金は、実費払いで領収書と引き換え。

- 公共交通機関の場合(鉄道、バス、船舶、飛行機)

鉄道・バス・船舶の場合	利用料金支給(WEB 検索料金)
飛行機の場合	領収書添付で実費支給
タクシー	領収書添付で実費支給 ※公共交通機関での移動が難しい場合のみ利用可能とする。

- 宿泊を伴う場合

宿泊費	領収書添付で実費支給※原則として一泊1万3千円以内。
-----	----------------------------

(3) 賃借料(科目:③賃借料)

(4) 賃金(科目:⑧賃金)

摘要	内容	金額	備考
1 種学生委員長賃金		5,000 円以内/	1 ヶ月
1 種学生副委員長賃金		3,000 円以内/	1 ヶ月
熊本県学生サッカー連盟事務局長賃金		1,000 円以内/	1 ヶ月
大会視察日当		5,000 円以内/	1 日
大会役員日当		5,000 円以内/	1 日
大会委員長賃金		15,000 円以内/	1 大会
大会事務局長賃金		10,000 円以内/	1 大会
大会事務局賃金		1,000 円以内/	1 時間
会場責任(担当)・運営責任(担当者)賃金		5,000 円以内/	1 日

(5) 会議費(科目:⑨会議費)

摘要	内容	金額	備考
県協会・委員会・学連会議又は県協会に準じる会議		2,000 円以内	1 回
九州協会・九州大学サッカー連盟会議又は九州 FA に準じる会議		3,000 円以内	1 回
JFA 会議又は JFA に準じる会議		5,000 円以内	1 回

一覧にない費用弁済・手当については、1 種学生委員会で協議して決定する。